

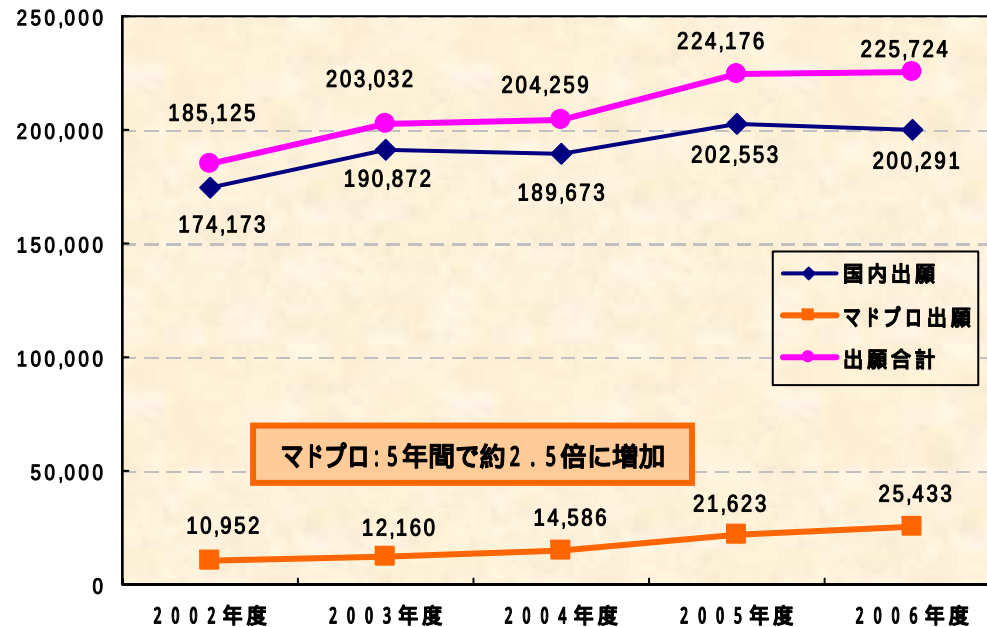
商標政策を巡る最近の動向について

平成20年1月
特 許 庁

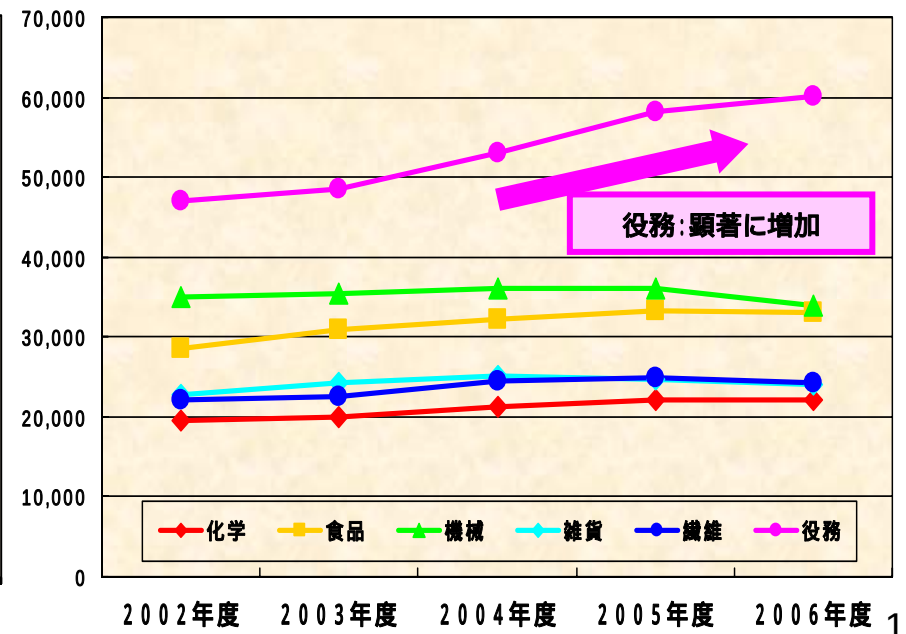
1. 商標出願動向について

- 我が国特許庁への出願数は、近年増加傾向が続いている。
- 特に、広告・金融といったサービス分野の増加が著しい。
- 米国、韓国、欧州（EC）の加盟の影響もあり、マドリッド協定議定書を通じた国際商標登録出願数が5年間で約2.5倍に増加している。

商標出願区分数の推移

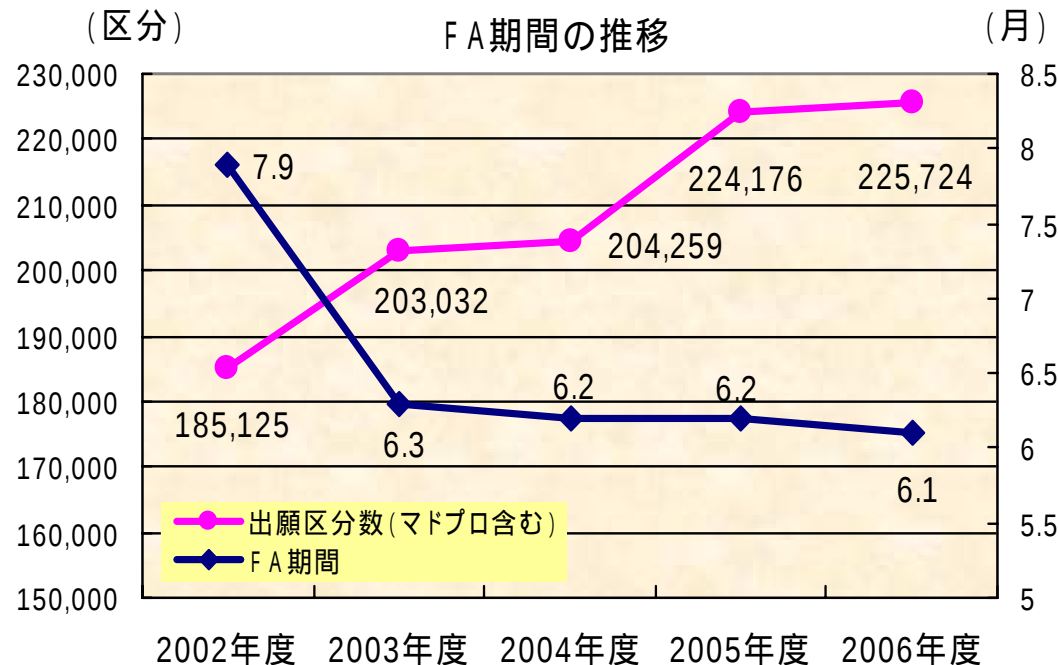


産業分野別商標出願区分数



2. 商標審査を巡る現状

- 2006年度は、F A処理を約210,000区分行い、平均審査順番待ち期間（F A期間）6.1ヶ月。
- 2007年4月より受付を開始した小売等役務商標出願に係る審査負担の増大もあり、審査順番待ち期間の短縮化には困難が伴うことが予想されるものの、2007年度の審査順番待ち期間を6.0ヶ月にすべく努めているところ。



商標法第3条第1項柱書 審査基準改定

2007年4月1日以降の出願に対して、願書に記載された指定商品又は指定役務について、商標の使用又はその意思があることに合理的な疑義がある場合は、商標法第3条第1項柱書を適用。

不使用商標対策を強化

3. 最近の国際関係の動き (1) 商標三極会合等について

- 商標登録制度及びその運用について、日本（JPO）・米国（USPTO）・欧州（OHIM）の三庁が、意見交換を行い、制度及び運用の改善につなげることを目的として、2001年からほぼ毎年1回開催している。
- 2007年10月15日・16日に、第6回商標三極会合を東京で開催。
- 中国商標局がゲストとして初めて参加し、出願・処理状況、電子化の状況、審査処理迅速化の施策、中国の商標法改正等について意見交換を実施。
- 三極のみの会合では、三極としての将来的な中国協力、三極が相互に受け入れられる商品・役務表示のリストの更なる活用、マドリッド制度の将来構想、商標検索システム、について意見交換等が行われ、三極間で共同声明を作成。
- 2007年10月17日に第6回日中商標長官級会合を東京で開催し、審査の迅速化や中国の商標法改正の課題について意見交換を実施。

<左より 欧・米・中・日 長官>



<商標三極会合風景>



3. 最近の国際関係の動き (2) WIPOでの議論

【1】マドリッド制度

- マドリッド協定議定書加盟国数（2007年12月末現在：74ヶ国）
- 2007年9月に開催されたマドリッド同盟総会において、マドリッド協定と同協定議定書の双方が適用される国については、基本的に議定書が適用されることが採択された。
- マドリッド制度の利便性を向上させるため、以下のような点につき引き続き作業部会において検討していく。（2008年に2回開催予定）
 - ・ 指定国審査の情報開示
 - ・ 基礎要件の見直し
 - ・ 国際事務局からの更正通報期限の設定

【2】ニース協定

- 加盟国数：81ヵ国（2007年12月末現在）
- 国際分類を採用する国数：150ヵ国以上（2007年12月末現在）
- 国際分類は、数次の改訂を経て、現在は第9版が発効（2007年1月1日）。
- 2012年の第10版発効に向け、改訂作業が進められている。
 - ・ 各国から約830項目の提案
 - ・ 現行の飲食料品の区分に属する商品の整理・統合

3. 最近の国際関係の動き (2) WIPOでの議論

【3】 SCT

- WIPOに設置された商標・意匠・地理的表示の法律に関する常設委員会（SCT）では、2007年11月の第18回会合で、「新しいタイプの商標」「異議申立手続」「意匠制度」等について検討が行われた。
- 2008年6月の第19回会合において、引き続き議論が行われる予定。

【4】シンガポール条約

- 2006年3月、シンガポールにおいて採択された「商標法に関するシンガポール条約」は、商標法条約の内容を基本とし、主に以下の点が加えられている。
 - 出願手法の多様化への対応（書面による出願に加え、電子的手段による出願にも対応）
 - 商標出願手続の更なる簡素化及び調和（商標ライセンス等の登録手続の共通化）
 - 商標出願に関連する手続の期間を守れなかった場合の救済措置
- 10の国又は政府間機関が批准書又は加入書を寄託した後3か月で効力が発生。2007年12月末現在、シンガポール及びスイスの2か国が批准書を寄託。

4. 地域団体商標制度の現状

- 地域ブランドをより適切に保護することにより、信用力の維持による競争力の強化と地域経済の活性化を支援することを目的にした制度（2006年4月1日施行）。
- 周知活動：制度施行前を含めて、本年までの3年間、全国各地において制度の普及と審査基準の解説を目的とした説明会を実施。
- 農水省との連携：知的財産分野における連携を有機的に推進するため、経済産業省と農林水産省は「知的財産連携推進連絡会議」を設置。地域における知的財産の創造、保護及び活用を更に促すため、密接かつ有機的に連携をとりつつ、各種施策を積極的に展開。

登録例 「京人形」
出願人：京人形商工業協同組合



地域別出願内訳一覧表（1月15日現在）

北海道	東北	関東	甲信越	北陸	東海
35	57	73	52	57	98
近畿	中国	四国	九州	沖縄	その他
231	43	25	76	34	4
合計：785件					

地域別登録査定内訳一覧表（1月15日現在）

北海道	東北	関東	甲信越	北陸	東海
11	24	34	13	37	44
近畿	中国	四国	九州	沖縄	その他
96	17	18	40	7	1
合計：342件					

【参考】

地域団体商標MAP

2008年1月15日までに登録査定された商標(342件)

海外

【イタリア国】
PROSCIUTTO DI PARMA

九州

【大分県】
関あじ
関さば
大分麦焼酎
大分むぎ焼酎
豊後別府湾ちりめん
豊後牛
日田梨

【宮崎県】
宮崎牛
宮崎ハーブ牛
宮崎の本格焼酎
北浦灘アジ

【長崎県】
長崎カステラ
五島うどん
五島手延うどん

【福岡県】
博多人形
博多織
小石原焼
合馬たけのこ
上野焼
八女提灯

【熊本】
球磨焼酎
黒川温泉
阿蘇たかな漬
熊本名産からし蓮根
天草黒牛

【佐賀県】
神埼そうめん
佐賀のり
伊万里梨
佐賀産和牛
小城羊羹

【鹿児島県】
かごしま知覧茶
知覧茶
本場奄美大島紬
薩摩焼
川辺仏壇
知覧紅
かけろまきび酢
鹿児島黒牛

沖縄

【沖縄県】
石垣の塩
沖縄そば
首里織
琉球びんがた
琉球泡盛
本場久米島紬
沖縄黒糖

四国

【香川県】
庵治石

【愛媛県】
真穴みかん
西宇和みかん
菊間瓦
西条の七草
今治タオル
道後温泉
宇和島じゃこ天

【徳島県】
清東ねぎ
なると金時
徳島唐木仏壇
鳴門わかめ

【高知県】
土佐打刃物
四万十川の青のり
四万十川の青さのり
徳谷トマト

中国

【広島県】
福山琴
広島みかん
広島はっさく
広島酒
府中家具
広島かき
高根みかん
広島レモン

【岡山県】
岡山白桃
千屋牛

【山口県】
下関うに
北浦うに
長門ゆずき
厚保くり

【島根県】
石州瓦
しまね和牛

【鳥取県】
三朝温泉
東伯和牛
東伯牛

中部

【石川県】
金沢仏壇 七尾仏壇 加賀みそ 山代温泉 和倉温泉
大野醤油 加賀友禅 山中温泉 粟津温泉 美川仏壇
片山津温泉 牛首鮎金沢箔 九谷焼 輪島塗 中島菜
能州鮎 田鶴浜建具 加賀時絵 小松瓦 加賀野菜
加賀太きゅうり 加賀れんこん 能登牛

【岐阜県】
岐阜提灯 飛騨一位一刀彫 下呂温泉 飛騨牛乳
山岡細寒天 美濃焼 飛騨ヨーグルト 飛騨高原牛乳
飛騨春慶 飛騨アイスクリーム 飛騨牛 郡上鮎
飛騨のさるぼぼ みずなみ焼 飛騨の家具
飛騨・高山の家具

【三重県】
松阪牛 松阪肉 大内山牛乳 伊勢茶 伊勢たくあん
伊勢ひじき 伊賀くみひも

【愛知県】
三州瓦 常滑焼 有松鳴海絞 三河木綿 豊橋筆
名古屋仏壇 一色産うなぎ

【富山県】
入善ジャンボ西瓜 黒部米 高岡仏具 高岡銅器

近畿

【福井県】
越前漆器 越前竹人形 越前瓦 若狭かき 若狭塗箸 越前がし
若狭くじ 若狭ぶく 越前打刃物

【兵庫県】
豊岡鮑 灘の酒 淡路瓦 豊岡杞柳細工 城崎温泉 龍野淡口醤油
明石鯛 加西ゴールデンベリーA 播州毛鉤 三田牛 三田肉
須磨海苔 神戸ビーフ 神戸肉 神戸牛 播州そば 但馬牛
但馬ビーフ 淡路ビーフ 有馬温泉

【京都府】
京あられ 京おかき 京仏壇 京人形 間人ガニ 舞鶴かまぼこ
京石工芸品 鴨川納涼床 京つけもの 京漬物 京都名産すき
京都名産千枚漬 北山丸太 京雛 京印章 京仏具 京くみひも
京黒紋付染 京房ひも 京甲冑 京仕立 京表具 京小紋
京友禅 西陣爪掻本綴織 西陣御召 西陣金襴 京鹿の子絞
京扇子 京うちわ 京味噌 京念珠 宇治茶 京鮎 京せんべい
京都肉 京石塔 京都米 京の伝統野菜 京とうふ 京たんご梨
京菓子 詔京染 湯の花温泉 京焼・清水焼 京たたみ

【滋賀県】
雄琴温泉 近江牛 琵琶湖産鮎 信楽焼

【大阪府】
大阪欄間 和泉木綿 泉州タオル
泉州水なす 大阪泉州桐葉筒 大阪仏壇
堺刃物 堺打刃物

【和歌山県】
紀州うすい しもつみかん 有田みかん
和歌山ラーメン 紀州備長炭 紀州筆筒
紀州みなべの南高梅 すさみケンケン鯉
紀州梅干 南紀白浜温泉

【奈良県】
高山茶釜 吉野材 吉野木葛 吉野葛
大和肉鶏 吉野杉 吉野松

北海道

【北海道】
十勝川西長いも
鶴川ししゃも
豊浦いちご
はばまい昆布しょうゆ
虎杖浜たらこ
大正メークイン
大正長いも
大正だいこん
苫小牧産ほっき貝
幌加内そば
ほべつメロン

東北

【青森県】
たっこにんにく 嶺きみ
大間まぐろ

【福島県】
土湯温泉
南郷トマト

【秋田県】
秋田由利牛 比内地鶏 秋田諸越 白神山うど

【山形県】
平田赤ねぎ 刈屋梨 米沢織 米沢牛 山形佛壇
山形おきたま産デラウエア

【岩手県】
いわて牛 いわて短角和牛 南部鉄器 江刺りんご
真崎わかめ

【宮城県】
仙台味噌 仙台みそ 仙台牛 仙台黒毛和牛

関東

【栃木県】
本場結城紬 塩原温泉

【茨城県】
本場結城紬 笠間焼

【埼玉県】
岩槻人形 草加せんべい やばたいも 甲州手彫印章

【山梨県】
甲州手彫印章

【新潟県】
小千谷縮 小千谷紬 新潟清酒 安田瓦

【群馬県】
高崎だるま 上州牛 伊香保温泉 草津温泉 十石みそ
桐生織

【長野県】
市田柿 信州鎌 蓼科温泉 飯山仏壇 木曾漆器

【千葉県】
房州びわ 八街産落花生 市川のみし 市川の梨
富里スイカ 矢切ねぎ

【東京都】
稲城の梨 江戸甘味噌 江戸押絵羽子板 江戸甲冑
江戸衣裳着人形 江戸指物 江戸木目込人形
江戸木版画 江戸切子 江戸からかみ 東京銀器

【神奈川県】
小田原蒲鉾 小田原かまぼこ 松輪サバ 湯河原温泉
足柄茶 横濱中華街

【静岡県】
駿河湾桜えび 由比桜えび 焼津鯉節 丹那牛乳
三ヶ日みかん 川根茶 静岡茶 駿河漆器 沼津ひもの
掛川茶

各経済産業局担当地域別

5. 小売等役務商標制度の現状

- 小売業者等が使用する商標について、事業者の利便性向上や国際的制度調和のため、役務商標として保護する制度を導入。2007年4月1日施行。
- 2008年1月15日迄の小売等役務出願件数・・・約19,500件
(上記の内、特例期間(施行後3月間)の出願件数：約17,000件)
- 2007年11月初旬より、小売等役務商標出願の審査に本格着手。

小売等役務商標制度の周知活動

2007年3月～6月末 専用ホットライン開設

2007年3月～9月末 全国に特別相談窓口設置

現在、昨年度に引き続き、全国47都道府県において説明会を開催中

特許庁及び工業所有権情報・研修館をはじめ、
各経済産業局や(社)発明協会等において相談受け付け中

6.新しいタイプの商標への取り組み

- 我が国で保護対象となっている商標のタイプ：文字・記号、図形、立体的形状等。
- 欧米諸国で保護対象となっている商標は、これらに加え、音、香り、ホログラム、動き等。
- 海外における出願・登録件数、我が国での保護の在り方等について調査研究開始（2007年9月）

《参考》主な国における新しいタイプの商標の出願・登録件数

	音		ホログラム		香り		動き		位置		色彩	
	出願	登録	出願	登録	出願	登録	出願	登録	出願	登録	出願	登録
件数	667	443	190	52	39	16	106	64	1114	693	1252	436

調査国（機関）：米・豪・英・仏・独・OHIM

調査対象期間：1994年～2006年